

鶏舎の夏場対策改造

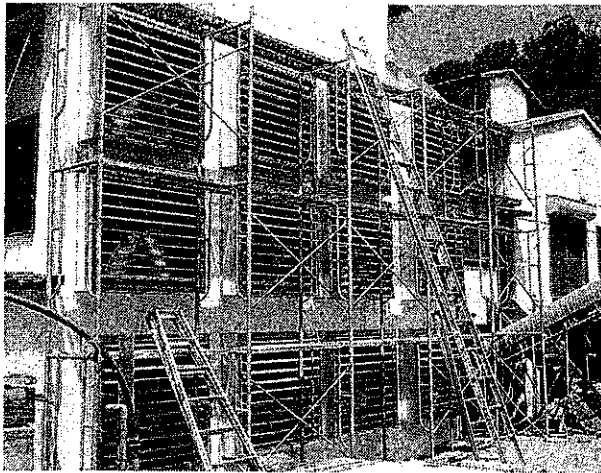
東洋システムが積極的に取り組む

東洋システム(株)(安田勝彦社長)本社・岐阜県各務原市金属団地九七(四)は、同社の持つ技術を利用して、鶏舎の夏場対策の改造に積極的に取り組んでおり、注目されている。

これは夏に強く、冬期は入気口分割によって舎内温度格差がほとんど出ない、同社の新トンネル換気(特許三五九八二一)をおよび三七〇三二六(八)を活用し、従来型ウインドレス鶏舎(横断換気、天井排気、陽圧換気など)の換気改善や、開放鶏舎の夏場の環境改善に積極的に取り組んでいる。

さらには水源のある農場では、これにクーリングパッドを導入したり、建物の構造上制約がある場合には、ルービンフォックをドッキングさせて、夏場対策の効果のアップを狙っている。

同社では、この夏場対策改造に、新トンネル換気を開発した翌年の平成九年から取り組み、各地で実績を上げつつある。地球温暖化の中、この実績をもとに施工経験なども織り込み、効果的な夏場対策に加え、冬期の環境も良い鶏舎に、経済的なコストで改造できるようにさらに研究を続け、その輪を拡げていきたいとしている。



夏場対策用の改造が進む開放鶏舎の例